

ふじみ野

市議会だより

No.39

H27.11.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

収入を増やして豊かなまちへ 2p

平成26年度 一般会計決算認定

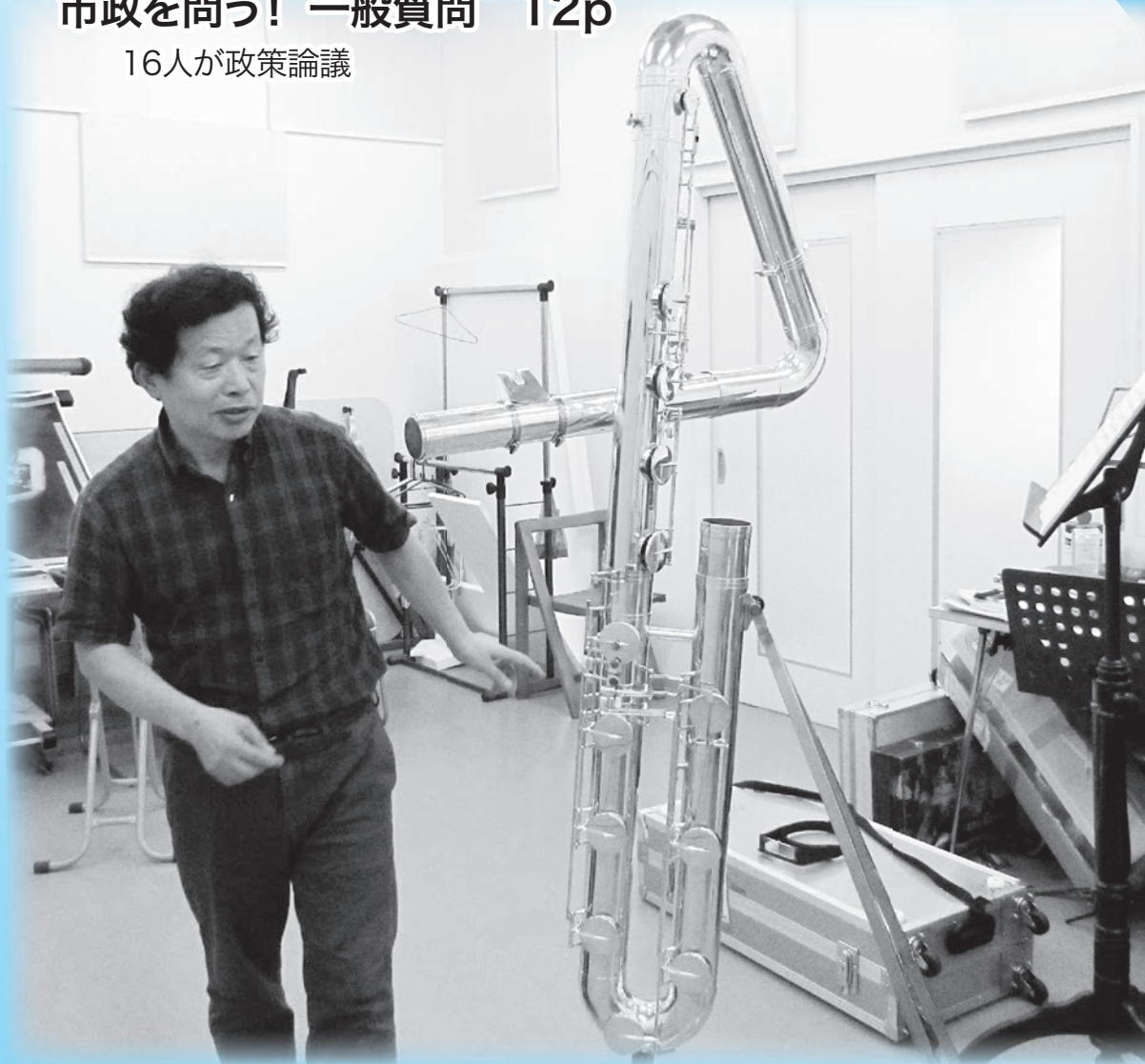
暮らしの質を高め心と体を健康に 8p

文化・スポーツ振興条例

インターン生が議会にやってきた!! 11p

市政を問う! 一般質問 12p

16人が政策論議



働く人シリーズ⑱ フルート工房

日頃、見慣れたフルートとは形も大きさも違いました。工房では、ソプラノからダブルコントラバスまでのフルートをすべて手作業で作製。ヨーロッパやアメリカなどでも愛用されています。

関連記事…18ページ

平成27年第3回定例会では、一般会計をはじめとする各会計の決算がすべて認定されました。
また、一般会計補正予算のほか、文化・スポーツ振興条例や市立保育所の設置及び管理条例の

一部改正、下水道条例等の一部改正など、市長提出議案すべてが可決されました。
なお、議員提出議案4件は、うち1件が可決され、請願1件は不採択とされました。

収入を増やして豊かなまちへ

総括質疑

平成26年度

一般会計決算認定



生まれ変わった教室で集中！集中！
(小中学校大規模改造、エアコン設置)

平成26年度 一般会計 決算の特徴

※万円未満四捨五入

歳入…増減した主なもの

市民税

26年度 73億4028万円

25年度 71億3127万円

前年度対比
2億901万円増

固定資産税

26年度 64億7558万円

25年度 63億4719万円

前年度対比
1億2839万円増

地方交付税

26年度 36億2414万円

25年度 36億9394万円

前年度対比
6980万円減

市債

26年度 61億9926万円

25年度 42億6071万円

前年度対比
19億3855万円増

歳入 決算総額 407億6638万円

前年度対比 14.4%増 (51億3436万円)

歳出 決算総額 383億8534万円

前年度対比 12.4%増 (42億4124万円)

歳入歳出差引額
23億8104万円

実質収支額
12億2733万円

歳出…増減した主なもの

人件費

26年度 54億164万円

25年度 54億760万円

前年度対比
596万円減

扶助費

26年度 84億2079万円

25年度 78億5775万円

前年度対比
5億6304万円増

公債費

26年度 26億9577万円

25年度 31億7214万円

前年度対比
4億7637万円減

普通建設事業費

26年度 80億8034万円

25年度 44億4800万円

前年度対比
36億3234万円増

問 効果的な自主財源確保の取り組みは。

多様な取り組みを模索

一つとして、自動電話催告システムの導入や未利用地の売却などがある。
また、歳出では、引き続き事務事業の見直しや一層の行財政改革を進めるとともに、計画的な基金への積み立てが必要と考える。

答 企業を市内に誘致することにより、雇用需要の増加や経済効果が見込まれる。
また、子育て世代を応援するさまざまな取り組みを進めており、その結果、若い子育て世代が流入している。これにより税収増など自主財源の確保に結びついている。
その他、ふるさと納税や各種特定目的基金への寄附の拡大、有料広告収入の拡大など多様な取り組みを進めていきたい。

問 平成26年度決算の財政指標は。
答 財政の弾力性を示す指標である経常収支比率は89・0%と、前年度に比べ1・8ポイント上昇した。しかし、前年度は消防組合所有地の売却などの特殊事情があったことから、前年度を除けば合併以降もともと良好な数値となった。
収入に対する借入返済の割合を表す実質公債費比率など、他の財政指標

問 今後の見通しは。
答 広域ごみ処理施設など大型事業に関する借り入れの返済ピークが目前に迫っている。
また、基金残高も減少していくなど、今後はかなり厳しい財政運営が予測される。
特に、普通交付税は、平成28年度から段階的に縮小し、平成33年度には7億円程度減少する見込み。少子高齢化、人口減

は、いずれも良好な状況である。

安定的な財政運営を

収入確保の強化を

問 財政健全化の対策は。
答 市税をはじめとした債権確保に努めるほか、受益者負担の適正化、企業誘致の早期実現、有料広告収入の拡大など、収入確保の強化に力を注いでいきたい。取り組みの

受益と負担の公平化へ

問 受益者負担の方針は。

答 平成19年3月に策定した「行財政改革大綱」や「ふじみ野市行財政改革推進5か年計画」の改革項目の一つとして、受益者負担の適正化を位置づけた。

その考え方は、利用する人と利用しない人の不公平をなくすことや、施設の維持管理運営経費に使用料や手数料を充当し、市民サービスの向上を目指すといった点を基本としている。

◆議案に対する総括質疑

青 藍 会 島田 典朗 議員

日本共産党 伊藤 初美 議員

公明 党 足立志津子 議員

堀口 修一 議員

ポイント①

適正な税の徴収を 市民税・固定資産税等

●主な質疑

問 人口の増加に比べ、市民税、固定資産税の増加が少ないように思えるが、どのような理由によるものなのか。

答 ふじみ野市は年々人口が増加してきており、その中でも生産年齢（15歳以上65歳未満）の方が転入してきている。そのため、市民税の収入が増加してきており、固定資産税についても、新築家屋の増加により収入が増加している。ただし、平成26年度は591棟が新築されたが、減失も408棟あった。

問 現年課税分の不納欠損額について、市民税や固定資産税、都市計画税など、すべてにおいて現年課税分の不納欠損が増加している。要因は。



新築家屋の建設が続く市役所周辺

※不納欠損 滞納となった市税等の徴収金が何らかの理由で徴収できなくなった場合に、その調定の金額を消滅させること。

答 今年の不納欠損の特徴としては、高齢者や持病のある方、所得が全くない方など、今後も納税をすることが難しいと判断できる場合が多かった。また、執行停止による即時消滅は、平成25年度172件に対し、平成26年度は502件で、約3倍強の件数となっている。

問 公金徴収を明確なルールで行うために、債権管理条例の制定が必要では。

答 市債権部分も含め、当該条例の必要性は認識している。

ポイント②

運行と利用料の見直しを 市内循環バス運行事業補助金

●主な質疑

問 昨年度の補助金として3000万円程度支出されているが、収入は150万円程度。利用者数は年々増加しているが、収入は伸びていない。今後の対応は。

答 現在、路線・乗車料

金等の見直し検討をしている。

問 利用者約4万6000人のうち、85%は無料利用者。

いつでもどこへでも行けるような運行を考え、障がい者や本当に困窮している方は別として、受

益者負担も必要ではないか。

答 ふじみ野市地域公共交通活性化協議会の中でも、費用対効果などの観点から協議を進めている。



ポイント③

高齢者の生活支援を 地域支え合い事業補助金

●主な質疑

問 地域支え合い事業補助金の内容は。

答 うれし野まちづくり会館に事務所を借りているNPO法人に対する補助金で、当該団体は、買い物支援や生活支援などを行っている。

問 当該事業の効果をど

のように捉えているか。

答 買い物支援や生活支援などは、介護保険事業の対象外となる。そういった部分を地域支え合い事業が担っているため、利用者の多くの方々から大変に助かっているという声をいただいている。

また、新しい介護予防・日常生活支援総合事業を実施していく予定なので、今後もNPOやボランティアなどに協力をいただきながら、新しい事業を構築していく必要がある。



障子張り替えのお手伝い

あると考えている。

問 当該事業の利用状況は。

答 利用時間数が2万7559時間。内容は、買い物代行・外出の付き添い・部屋の掃除・庭の手入れなどとなっている。

また、1回の業務が1時間から2時間程度なので、それを元に推定すると、大体1万件くらいの需要があったと捉えている。

ポイント④

災害に強い水道整備 水道事業会計利益の処分及び決算認定

●主な質疑

問 現状の課題として認識している点は。

答 水道管の更新時期で多額の費用がかかる。そのため効率的手法の検討が直近の課題。

問 口径300mm、200mmの石綿管の布設替えの数が少ないが理由は。

答 主に200mm以上の大口径老朽管は、布設替え単価が非常に高額でなかなか進んでいない。

平成26年度末の老朽管残延長約14・7kmのうち約3・5kmが小口径に変更可。そのあたりの検討も含め進めていく。

問 防災、減災のためには、耐震管への布設替えとともに、管路変更が必要では。

答 平成26年度の配水管の管網計算の結果から、

県道さいたまふじみ野所沢線の口径を大きくすることで、道路幅員が非常に狭い北野・大原地区の大口径管を100mm、150mmの小口径管にすることを検討している。

問 4542万円の黒字の理由は。

答 今回、地方公営企業法の会計基準の変更で減価償却に見合う分の負債を減少させたため、数字上のものである。

り、現金収入を伴うものではない。

問 水道料金に下水道事業の人員費が含まれていないか。

答 同じ上下水道課の中で



福岡浄水場

広域ごみ処理施設建設事業等 補正額…5億 5106 万円

大型建設事業が進行中

広域ごみ処理施設と(仮称)ふじみ野市上福岡学校給食センターの契約金額が物価スライド条項の適用等で5億5106万円増額となります。



環境センター

●主な質疑

問 物価スライドに伴う建設労務単価の引き上げで、下請けの建設労働者の賃上げは。

答 アンケートの結果、賃金の引き上げを行っている業者もある一方で、そうではない業者もある。

問 市場競争原理が働かない下での契約変更は問題だが、透明性を確保する対策は。

答 今後、さまざまな手法を検討する。

問 学校給食センター建設事業について、科学的根拠に基づいた地質調査を行い、建設計画をつくるべきだったのではないか。

答 要求水準書で慎重な調査を義務づけるなど、対策を研究していきたい。

道路用地買収事業等 補正額…6877 万円

安全で通行しやすい 道路改良に向けて



拡幅予定の道路

●主な質疑

問 市道第 341 号線の道路拡幅は、どのくらいの期間で実現したのか。

答 数年前から要望があり、1 年前に地権者から 50 cm ほどご協力いただける話があったが、車の行き違いの改善に繋がりにくいため保

留としていたところ、今年になり 1 m の協力をいただけることになり実現したもの。

問 当初予算から比べると 50% の増額となっているが、その理由は。

答 今年度は修繕の要望件数が多く、現時点で既に 350 件の要望がある。

市道第 341 号線(上福岡四丁目満寿屋横)の狭あい道路拡幅、道路の修繕・街路樹の剪定が予算化されました。

企業誘致推進事業 補正額…224 万円

経済の安定的発展に向けて

企業から見たふじみ野市の状況を的確に把握するために、1000 社程度を抽出してアンケート調査を実施し、企業立地基本計画に反映していく事業です。

●主な質疑

問 企業アンケートの対象範囲は。

答 業種については、特定企業に偏らず、また、都内に近く業績が上向き、今後設備投資を考えている優良な企業をアンケート対象企業として想定している。

問 本市は、首都圏から近いことから、食品関

連または物流の事業所や地盤の固さを生かした通信系の事業所は、立地条件として良いと考えるが、分析の有無は。

答 交通環境は良好なため、飲食加工業、物流業、ロケットなどの先端産業といった企業の誘致を図ればと考える。

国道 254 号バイパス
沿道地区



亀久保字大野原地区

平成 26 年度 一般会計 決算討論

賛成多数で可決

反対

基本戦略がなっていない

日本共産党 塚越洋一 議員

行き過ぎた行政リストラや受益者負担が進められ、一般会計の基金合計が 104 億円にもなるのは、市の将来を摘み取る大損失になる。基金は使ってしまうと、それで終わる。保育所を建て替えないで次々と廃止するのは、保育所を単なる建物としてしか見ない短絡的政策判断だ。現在のふじみ野市は、20 年以上前のふじみ野駅急行停車や区画整理事業などの政策効果が波及しているからであって、いつまでも発展が続くわけではない。30 年先、人口減少時代を見通して、首都圏の住宅都市としての都市構造をどうするのか、基本戦略がなっていない。

賛成

誰もが安心して暮らせるまちを

青藍会 小林憲人 議員

当年度も繰上償還が行われ、各指標を適切に管理しながら後年度負担の軽減につなげたことや、市税の徴収率が合併以来最高になったことを評価する。

また、都市基盤整備事業として、懸案であった上福岡駅東口駅前広場整備事業や都市計画道路上沢勝瀬通り線の用地買収に向けた取り組み、市内各地域での雨水対策関連事業を評価する。

更に、エアコンの設置や放課後児童クラブの拡充などの学校環境整備や、認知症初期集中支援チームの配置などが高齢者施策を評価する。今後も、子どもたちから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを期待する。



今年 4 月にオープンした児童・発達支援センター

賛成

子育て・ビジネスに強いまちに

無所属 民部佳代 議員

平成 26 年度は、安全・安心のため、そして子どもへの施策を積極的に推し進めた年度である。

市税の滞納は払える人への徴税に注力し、払えない人には生活困窮のサインと受け止め福祉支援へとつなげている。

歳出では小中学校の大規模改造、トイレ改修、教室のエアコン設置など、教育環境の整備に力を入れた。一時は撤去されたままだった公園の遊具も充実した。今後も子育て世代に選ばれるまちを目指してほしい。最大の課題は産業の活性化である。企業誘致に着手したが、民間の人材も活用して人脈を広げ、ビジネスにも強いまちになってほしい。

賛成

子育ての不安解消への支援策を評価

公明党 川畑京子 議員

当年度支出の主な要因となる施設整備事業のうち、公明党も以前より強く要望していた、児童・発達支援センターが開設。早期発見・相談・指導を行う中、発達障害の遅れなどから悩みを抱える保護者へ正しい知識と関わり方の習得を促すとともに、子育てへの不安解消につながる支援と考え、大変喜ばしいことと評価している。また、(仮称)ふじみ野市上福岡学校給食センター整備事業では、飽食の時代にあつて、食育・貧困・アレルギーの問題など、子どもの生命に関わる事業と認識しており、完成に向けた取り組み、継続を期待する。

下水道事業公営企業化

平成 28 年度から公共下水道事業に地方公営企業法が適用され、特別会計から企業会計へ変更されます。これにより、経営状況をより正確に把握することができ、将来にわたって公共下水道の持続的・安定的な運営をするための環境が整うことになります。



問 地方公営企業法適用による効果や課題は。

答 効果は、官庁会計（現金主義、単式簿記）から企業会計（発生主義、複式簿記）へ会計方式が変更することにより、最終決算の段階で、一般企業が用いる損益計算書や貸借対照表を作成するので、経営状況がはつきりすることである。

課題としては、移行に際して下水道管 1 本 1 本の布設時期や経過年数など、公共下水道の資産をすべて把握することや、職員が企業会計を習得するためのスキルアップが求められる。

問 今後の公共下水道の使用料について、現段階での考えは。

答 今後も使用料は汚水処理に充てるのが原則と考えている。県で行っている下水の処理費用が平成 32 年以降どうなっていくかが、料金改定の大きな要素となると考えている。

問 今後の一般会計からの繰り入れの考えはあるか。

答 「雨水公費・汚水私費の原則」に基づき、適正に行っていく。

チェック！

公園・学校・道路など

公共施設の安全点検結果報告

安全に安心して利用できる公共施設を目指し、毎年 7 月 25 日～31 日を公共施設安全点検週間と定め、市内の各施設を点検しています。このほか、道路や公園などについては年間を通じて点検・修繕が行われています。これらの点検結果や対応状況が議会に報告されました。

●各常任委員会への報告と質疑

市内の施設の中で、危険なために使用中止の措置が取られた施設はなく、概ね 1 年以内の是正が必要とされている施設は、報告時現在で 46 か所ありました。

公園遊具に関しては、老朽化だけでなく、新たに国土交通省等から示された指針や基準に基づく点検も行われました。また、基準等がなくとも、過去の事例を参考にした点検についても行っていくべきとの質問、指摘がありました。

福岡河岸記念館の敷地の一部については、沈下箇所が発見されました。現在、そのエリアへの立ち入り禁止措置が取られていますが、今後の対策等について質問がありました。今後、原因の調査を行い、対策が検討されます。



福岡河岸記念館

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

… 平成 26 年度決算 …

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計
- ◎下水道事業特別会計

以上、認定

- ◎水道事業会計利益の処分及び決算

可決及び認定

… 平成 27 年度補正予算 …

- 一般会計（第 2 号）
- 一般会計（第 3 号）
- 国民健康保険特別会計（第 1 号）
- 介護保険特別会計（第 1 号）
- 後期高齢者医療事業特別会計（第 1 号）
- ◎下水道事業特別会計（第 1 号）

以上、可決

… 条例の制定 …

- ◎文化・スポーツ振興条例
- ◎スポーツ推進審議会条例

以上、可決

… 条例の廃止 …

- 特定目的借上公共賃貸住宅条例及び特定目的借上公共賃貸住宅家賃条例を廃止する条例

可決

… 条例の一部改正 …

- 手数料条例の一部改正
- 個人情報保護条例の一部改正
- ◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 市立保育所の設置及び管理条例の一部改正
- ◎地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正
- 下水道条例等の一部改正
- ◎上下水道審議会条例の一部改正
- ◎市立学校給食センター設置条例の一部改正
- ◎放課後子ども教室運営委員会条例の一部改正

以上、可決

… 契約の締結 …

- ◎（仮称）ふじみ野市・三芳町環境センター整備・運営事業建設工事請負変更契約の締結
- ◎（仮称）ふじみ野市上福岡学校給食センター整備運営事業変更契約の締結

以上、可決

… その他 …

- ◎公の施設を入間郡三芳町の住民の利用に供させることに関する協議
- ◎道路線の認定（4 件）

以上、可決

… 請 願 …

- ・鶴ヶ岡・亀久保保育所の廃止に伴い保育内容の継続を求めることに関する請願

不採択

… 人 事 …

- ◎公平委員会委員の選任

同意

… 意見書 …

- ◎環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉をより慎重に対応することを求める意見書 可決
- ・消費税の 10% 引き上げの中止を求める意見書
- ・労働者派遣制度をやめ、正社員化を進めることを求める意見書
- ・安全保障関連法案等の撤回を求める意見書

以上、否決

条例制定

全員賛成で可決

文化・スポーツ振興条例 暮らしの質を高め 心と体を健康に

市民の自主性や創造性を尊重し、文化活動およびスポーツ活動ができるよう、環境の整備を図ることなどを市の責務として定めた理念条例が提出されました。

●主な質疑

問 他の自治体では、文化とスポーツの振興は、それぞれの条例として制定するケースが多い。一つの条例として制定する理由は。

答 市民が文化活動やスポーツ活動を通してコミュニケーションを図り、まちづくりを生かしてほ

しいと考えた。

問 審議会やパブリックコメントで、市ならではの方向性について何か意見があったか。

答 審議会でも、当初は文化とスポーツそれぞれの分野への理解が薄く、お互いへの反論が出ていた。回を重ねるごとに、お互いへの理解が深まっ



てきた。そういう場はこれからも作っていく必要がある。

問 スポーツは結果が出るので分かりやすいが、さまざまな文化がある中で市はどうやって情報を集めるのか。

答 市場調査のようなものを行い、市民の力も活用したい。

請 願

賛成少数で不採択

保育に関する請願

保育水準の継続を求めて

●請願者に対する質疑

問 公立保育所の内容を継続とあるが、新しい保育所では公的保育は保障されないの考えか。

答 十分な情報がない中で、漠然とした不安に置かれている状況である。

問 一方的に移行先の民間園を決定するとあるが、実情は。

答 意向調査については、通勤等の都合により新設の 2 園に通いきれない場合は、市内どちらの園を記載しても構わない調査票となっている。

●市に対する質疑

問 障がい児のいる家庭に対して、市の取り組み内容は。

答 障がい児の受け入れについては、他市よりも手厚く補助金を交付している。

問 行政の継続的なかわりについて、請願者は十分に納得していないが現状は。

答 保護者からの意見等は、常時受け付ける体制となっている。ただし、新園では何でも相談できる関係を第一義的につくりたいとの強い意向である。必要に応じて市が指導・支援を行いたい。

鶴ヶ岡・亀久保保育所の廃止に伴い、公立保育所での保育内容継続の保障を求める請願が保護者の代表から提出されました。

インターン生が 議会にやってきた！！

学生さんに
直撃インタビュー

大学のインターンシップ制度を利用して、市内の大学に通う学生2名が9月定例会開会期間中、ふじみ野市議会において研修を行いました。
実際に議会の仕事を間近で見た二人に率直な感想を聞いてみました。

こんな質問を
しました

- Q1** インターンで市議会を志望した動機は何ですか。
Q2 市議会で印象的だったことはありますか。
Q3 市議会で意外に感じたことはありますか。
Q4 ふじみ野市の議員に望むことはありますか。
Q5 インターンの経験を今後どのように活かしていきたいですか。

文京学院大学3年生
原田一希さん



A1 私は来年の就職活動で、公務員を志望しています。公務員と大きく関わっている市議会議員はどのような活動をしているのか興味があり、今回のインターンで志望させていただきました。

A2 今回の定例会など傍聴させていただいて印象的だったのは、どの会派もふじみ野市を良くしていくためにさまざまな意見があり、どれも間違っておらず、多種多様な価値観があるということが印象的に思えました。

A3 私は現在、政治学などの勉強をしていて、国会の仕組みや議会の内容などを学びましたが、

国会は国会、市議会は市議会と分けて考えていました。しかし市議会も、その国会と類似した議会運営をしていたのがとても意外に感じました。

A4 決められた予算の中で、ふじみ野市を市民が住みやすく、素晴らしいまちにしていけるかを、市役所の職員と考えながら実行していったらいいと思います。

A5 私が将来、行政職に就いた時に、今回の経験は重要な経験です。市議会議員がどのような視点でその地域を見ているかを勉強することができたので、それを行政側の取り組みに活かせるようにしていきたいです。

文京学院大学3年生
岸 桃香さん



A1 選挙で、どのような人たちが私たちに投票しているのかということに、純粋に疑問を持っていましたが、昨今、議員の不祥事をニュース番組でよく見たことから、ますます議員という仕事に対し興味を持ちました。

A2 公立保育所の廃止に関する議案や請願の審議で、さまざまな意見が交わされていたことが印象的でした。

A3 市議会だよりを、議員さんたちが会議を行いながら自分たちで作成していることが意外でした。

A4 ふじみ野市の議員さんに限ったことではないのですが、選挙の時などにマニフェストを各家庭に確実に配ってほしいと思います。

A5 私は、インターンに参加する前は政治に対してあまり興味がありませんでしたが、インターンを通し、議員さんたちと関わっていく中で、少しずつ政治に対して興味を持ちました。

これからは自分でどのような人に政治を行ってほしいのか、まちや国をどうしてほしいのかなどを考えながら、貴重な1票を使っていこうと思います。



新しい議場へようこそ！

市役所本庁舎の耐震補強・大規模改修工事が一部完了し、9月定例会から新しくなった本会議場が使用できるようになりました。傍聴席はバリアフリー化し、後ろ姿しか見えなかった議席での議員の表情も議場内のモニターで表示されるようになりました。



①議場モニター
発言者の様子や発言残時間が見やすくなりました。



②車いす専用スペース
4名までご利用いただけます。



③磁気ループシステム受信機
音声が届きにくい方にご利用いただけます。



④手話通訳者
事前にお申込みいただければ、手話通訳を利用できます。



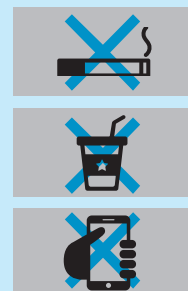
⑤車いす階段昇降機
車いすのまま階段を昇り降りし、傍聴席に入場いただけます。

新しい議場で議会傍聴してみませんか？

議場の席はこのようなになっています

傍 聴 席 (50席)										車いすスペース (4台分)	
21 塚越 洋一	20 床井 紀範	19 足立志津子	18 小高 時男	17 大築 守	16 有山 茂	15 西 和彦	14 山田 敏夫				
13 伊藤 初美	12 新井 光男	11 民部 佳代	10 伊藤美枝子	9 堀口 修一	8 島田 典朗	7 小林 憲人	6 谷 新一				
			5 島田 和泉	4 川畑 京子	3 渡辺 大	2 鈴木啓太郎	1 加藤 恵一				
出入り口											
監査委員 事務局長	会 計 管 理 者	教育部長	教 育 長	速記席				市 長	副 市 長	総合政策 部 長	総務部長
行政委員会	行政委員会	行政委員会	議会事務局	演 壇				市民生活 部 長	環境経済 部 長	福祉部長	健康医療 部 長
				事務局長	議長					都市政策 部 長	

傍聴席での
禁止事項



傍聴席において
写真、ビデオ撮影または録音等
をすることはできませんので、
ご協力をお願いします。



市政を問う！一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（11月下旬掲載予定）

「旧江戸屋」の保存とその周辺の自然環境

山田敏夫 議員

問 福岡三丁目にある文化財として価値のある「旧江戸屋」を保存し、その周辺の自然環境を整

備しては。

答 旧江戸屋の相続財産管理人と土地・家屋について、市に寄附をしてい

ただくように交渉している。周囲の景観にも配慮し、有効な土地利用に取り組んでいく。

ラジオ体操で健康づくりを

問 市民の健康づくりのため、ふじみ野市として

「ラジオ体操」を積極的に推進しては。
答 ラジオ体操は、市の「元氣・健康のまちづくり」を推進するうえで効果的な方法であるので、自治組織や企業などとも連携し、全市民的に普及に取り組んでいく。



運動公園に花卉の植栽を

問 ふじみ野市運動公園にバラや牡丹などの花卉を植栽し、市民に親しまれる魅力的な公園にしては。

答 運動公園基本計画を策定して、そのなかで具体的に花卉の植栽などを検討していきたい。

プレミアム商品券「ふじみん商品券」

加藤恵一 議員



問 本市での経済効果予測、実施後の検証方法は。
答 「プレミアム商品券」「多子世帯支援商品券」11月3日から販売する「第4回福バルチケット」と併せて4億5110万円の消費が見込まれる。事業終了後、売り上げ分析・消費者アンケートを実施する予定である。

問 新たに投票権を与えられる18歳・19歳の方への投票促進・啓発は。
答 有権者になったことをお知らせするカード、投票済証明書などを検討し実施する予定である。SNSを利用した啓発、小学校6年生の国会見学、本物の投票箱を用いた中学生の生徒会役員選挙など今後も実施し、引き続き指導していく。

18歳選挙権に向けての取り組み

運動公園上福岡プール跡地利用

問 市民プールを市内に新たに設置する考えは。
答 現状、他市では公営プールを廃止する流れであり、市民プールを新たに建設する予定はないが、それに代わるものとして県営プールの補助券を小・中学生に交付している。

問 民間委託により、子育て世帯への電動アシスト付き3人乗り自転車のレンタル事業を拡大できないか。
答 現在、職員が行っている募集や審査、管理などを民間事業者が行うことで、事務軽減につながる。また、自転車を民間事業者が所有するため、



子育て世帯の移動をアシスト

島田典朗 議員

英語教育の充実を

渡辺 大 議員

問 英語教育は、教育格差を縮めるのに最も有効。受験でも高配点、就職活動、昇進などでも有用。世界的全国的に英語教育の進展は目覚ましい。本市でも、更なる小中学校の英語教育充実を。
答 英語は子ども



中学校での英語教育

もたちに確実に身につけさせたい能力であり、ALT、ICTなどを活用しつつ更なる英語教育の充実に努める。

ジェネリック薬 価格表で告知

問 本市の支出する調剤費用は、年間17億800万円。

より低廉なジェネリック薬を使用し、仮に3割削減できれば、約5億円の節約になる。ジェネリック薬の中でも価格差が大きいものがある。一覧表のような形で告知しては。

スポーツ施設の整備を

問 文化・スポーツ振興条例も成立する。更なるスポーツ施設の整備を。

答 指定管理者が管理する施設は、30万円までは指定管理者の負担で、それを超えるものは、市の負担で修繕する。更なる整備に努める。

地域全体で消防団の支援を

問 消防団協力事業所表示制度が開始されたが、現在8事業所に留まっている。制度の普及推進を。

答 消防と連携し、市報やホームページを活用して認知度向上に努めている。

問 この制度を活用することで、支援体制の拡大

市は在庫を持たずに、需要に合わせた柔軟な対応が可能となる。先行する他市事例を参考に、費用対効果を含めて検討したい。

につなげることも可能ではないか。
答 申請の推薦者に自治会長等も含まれており、訓練場所の活用や団員募集等へつながるものと考ええる。

問 消防団支援として、地元商店や飲食店で団員が優待を受けられる制度が近隣市でも増えつつある。本市でも支援を。

答 商工会、地元事業所等の理解、協力が不可欠になる。積極的に研究していきたい。

一般質問

未来へ向けた青少年の育成を

川畑京子 議員

問 青少年の遊び場になるバスケットゴールの設置を。

答 苦情も多く、近隣住人との合意が必要。設置は困難であるが、適した

場所があるような場合には検討する。

問 青少年の利用拡大を目指す図書館を。

答 夏休みには図書館のバックヤード見学、仕事

体験ができる図書館探検隊を行っている。また10月から指定管理者の運営になり、新たに子ども司書制度を創設予定。

問 子ども議会の開催を。

答 自分の夢や希望を織り交ぜながら、市政に要望や質問を発表する機会を得ることは、健全育成

子育て支援サービスの見える化を

問 保育所、保育園マップ、紹介パンフレット作成や映像配信を。

答 市内の保育所、保育園の概略が簡単にわかるように、保育方針、内容、位置、外観やエントラン

ス、スタッフの写真など概略を紹介したものを作成し、写真や映像でも配信を検討する。



上福岡図書館

※ALT（Assistant Language Teacher） 外国語を母国語とする外国語指導助手。小中高校などの英語の授業で、日本人教師を補助する目的で配置される。

地域の認知症対策を進めよう

鈴木啓太郎 議員

問 高齢社会の到来を見据えて、認知症対策と地域包括ケアの対策が急がれるが。

答 介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らせるように、在宅医療と介護の連携を進めるほか、地域福祉の生活支援

サービスを来年度より開始する。また認知症初期支援チームの設置等を進めるとともに、サポーター講座など啓発活動に力を入れていく。

福祉総合支援チームの働き

問 4月にチームが発足してから、どのような活動を進めてきたのか。

答 7月末まで生活困窮者の相談件数は64件、関係機関からの支援要請は37件。ごみ屋敷や引きこもりなどのケースで、本人の健康や生活に留意した支援を工夫して解決に当たっていく。

障がい者への差別をなくす

問 障がい者差別解消法が来年4月から本格施行となる。どのような方針で臨むのか。

答 障がい者が社会生活で受ける制限は、障がいによるものだけでなく社会における障壁によって生じるという考え方を採用し、広く意見を聞いて合理的配慮を進める。

福岡高校の跡地利用

有山 茂 議員

問 今後の利活用は。

85号線への影響と今後の整備は。

答 所有者である埼玉県と協議を行っているが、合意には至っていない。

答 埼玉県や三芳町と連携し交通安全対策を検討する。

スポーツゾーンの今後の整備

問 大井総合体育館の老朽化対策は。

答 次期総合振興計画や都市計画マスタープランに反映させたい。

問 周辺の施設も含め、計画的な修繕を実施し延命を図りたい。

関越自動車道西側地区の雨水対策

問 今後の再整備の考えは。

問 大井西中学校付近の雨水調整池の進捗状況は。

答 運動公園内の施設と重複する課題を整理して、未利用地を含めて検討をする。

答 雨水調整池整備工事は平成28年3月完成を目途に工事を進めている。

問 ナイター設備の設置は。

問 県道狭山ふじみ野線周辺の雨水対策は。

答 他のナイター設備のある場所の利用促進を図る。

答 都市計画事業認可を受けており、概ね5年間で整備をする計画である。

三芳スマートICのフル化

問 接続する市道第5-

答 都市計画事業認可を受けており、概ね5年間で整備をする計画である。



東入間警察署入口
交差点付近

問 三芳スマートICのフル化が決定した。大井中学校南側の市道第5-85号線は川越街道へのアクセス道路となるが、交通量は。

問 三芳町との行政環境であり市単独で管理するのは難しい。県道への格上げを要請すべきでは。

答 1日当たり約400台、大型車が約200台増加する。

問 三芳町との行政環境であり市単独で管理するのは難しい。県道への格上げを要請すべきでは。

問 市民がスマートフォンのカメラとGPS機能で道路や公園などの危険箇所を情報提供できるシステムを導入しては。

問 市民がスマートフォンのカメラとGPS機能で道路や公園などの危険箇所を情報提供できるシステムを導入しては。

問 市民がスマートフォンのカメラとGPS機能で道路や公園などの危険箇所を情報提供できるシステムを導入しては。



旧福岡高校

市民が楽しみながら取り組める健康事業に

伊藤美枝子 議員

問 元氣・健康マイレージは、健診や健康イベントへの参加などでポイントを付与し、ポイントを商品券などと交換できるシステム。先進市の事例を通して提案してきた。今後の計画とあらゆる世代が取り組める工夫は。

答 市民ニーズの実態を把握し、来年度は、事業



学校給食

安全・安心の食物アレルギー対策を

問 食物アレルギーの掌握は、医師の診断に基づいた申請が必要では。

答 次年度より申請の際は医師の診断書または、

証明を得て申請していただき、給食センターとの3者面談で個別の取り

問 事故を未然に防ぐために誤配・誤食のチェック体制を。

問 少人数学級を実施した自治体から、欠席率や不登校が減った成果が報告されている。現在、小学校1、2年生は35人学級だが、ひとり一人の児童に行き届いた教育ができるように、まず小学校3年生まで35人学級を拡大できないか。

問 草や枝が伸びて通行の妨げになる危険な場所がある。日常的な管理が必要ではないか。

答 市では年に2、3回作業しているが、更に愛護会やロードサポートに協力をお願いしていく。

旧亀居保育所周辺の安全対策

問 保育所が廃止されてから、周辺が真っ暗で危険。安全対策は。

答 地域の見守りを強化するようお願いすると同時に、夜間パトロールも検討していく。

谷 新一 議員

複合災害の危険認識

問 地域防災計画で盛り込まれなかった複合災害の危険認識については。

答 豪雨や地震などの自然災害が同時または時間差をもって複合的に発生した場合、単独の災害よりも被害が大きくなり、さまざまな障害が想

定される。複合災害を意識して不測の事態に備えていきたい。

国道254号バイパス周辺の企業誘致

問 国道254号バイパス周辺の企業誘致に向け、関係機関と協議すべ

新河岸川周辺の面的整備

問 下福岡地域では、旧福岡高校の跡地利用を控

集合住宅への家賃補助

問 集合住宅に空室が多く、防犯上大変危険である。一人暮らしの高齢者などに家賃の補助をして空き家対策を行つては。

答 貸主が考えるべきなので、家賃補助は行わない。



夜は真っ暗な
旧亀居保育所周辺

次期「総合振興計画」の策定

塚越洋一 議員

問 次期「総合振興計画」の策定は、30年先を見通して、10年後の到達目標を位置付けるべきだ。市

ことを視野に入れて検討中。平成28年度から2カ年で作成する。審議会への市民参加や意見交換会などで市民の意見を反映する。自治基本条例に定めているとおり、議会の議決をお願いする。

国保税の引き下げを
問 国民皆保険制度を守るために市が果たすべき役割は何か。広域化も計画されているが、低所得者層の保険税を引き下げ、政策効果を発揮すべ

きた。
答 被保険者に対する急激な変化は避けるべきだという共通認識であり、経過を見守りつつ、決定事項に適切に対応するとともに健全で安定的な運営に努める。被保険者には、年金生活者をはじめ

指定管理後の上福岡図書館の水準を低下させないこと

足立志津子 議員

問 指定管理者が8000点以上の図書館資料を廃棄したなどの事例もある。10月から指定管理者運営になる上福岡図書館で、現在の水準を低下させないため、指定管理者の指導とともに中央館業

務を行う大井図書館には専門職員増員が必要では。
答 介護報酬は、国の範囲内で事業者の意見を聞いて決める。介護認定申請は誰でもできる制度となっている。

また、介護認定申請を無条件で受け付けるべきでは。
答 介護報酬は、国の範囲内で事業者の意見を聞いて決める。介護認定申請は誰でもできる制度となっている。

合・消防団との連携や自治組織が計画策定する際の支援は。
答 消防団は市と消防組合との協定で活動する。自治組織の計画策定にはマニュアルを配布し、10団体分の補助金も予算化した。

福岡江川洪水対策の具体化

要支援者が介護を受け続けられる対応

問 福岡江川排水ポンプ設置時期と財政見通しは。

運動公園整備基本計画と当面の改修
問 運動公園整備基本計画は平成27年度中に策定とのこと。水はけの悪いテニスコートなどの当面の改修計画は。

きめ細かな情報発信を
小林憲人 議員
問 ホームページ上で各部署が情報発信を行っているが、長期間更新がない部署もある。対策は。
答 部署によって更新内容の充実度が異なっている。今後は、全職員に周知・啓発を図り、スピード感のある情報発信に努めたい。

要支援者が介護を受け続けられる対応

問 要支援者が介護を受け続けられるように、改正介護保険法で引き下げられた予防給付報酬単価を従来どおりに保障し、

空き家の適正管理を
問 国土交通省が2016年に空き家対策として、市町村向けの「モデ

初期認知症診断後の支援を
問 初期認知症と診断されたことで、深刻に悩んでしまう方がいる。早期発見は良いことだが、専門医療機関への速やかな



問 要支援者が介護を受け続けられるように、改正介護保険法で引き下げられた予防給付報酬単価を従来どおりに保障し、

地域防災計画の水防対策の具体化
問 水防対策で、消防組

運動公園整備基本計画と当面の改修
問 運動公園整備基本計画は平成27年度中に策定とのこと。水はけの悪いテニスコートなどの当面の改修計画は。

空き家の適正管理を
問 国土交通省が2016年に空き家対策として、市町村向けの「モデ

三芳スマートICのフル化

島田和泉 議員

問 三芳スマートICのフル化で、本市の企業誘

致や周辺産業等への利益・不利益について。

答 市全体では相互乗入可となり利便性向上や周辺産業との相乗効果があるが、周辺道路、交差点の安全確保が必要。企業誘致事業にも経済活性化等効果的と判断している。

事業の企画・運営実施の可能性は。
答 新しい資金調達方法として注目されていることや、自治体が支援し市民が資金調達・企画実現する新しい協働の形だが、先例が少ないため今後調査検討をしたい。

ルジュ導入が効果的に設置に向け進める。障がい児童や教育については、関わり方を調査検討したい。

教育・保育コンシェルジュの導入

クラウドファンディングの実施

問 教育、保育の問題相談受付窓口の設置を。

高齢者による業務サポート
問 児童見守り業務や保育士業務のサポートとして、高齢者のマンパワーを活用できないか。

余裕教室の有効活用を
問 教育振興基本計画にあるような、新たな学びの空間としての学校施設を考えた場合、余裕教室の活用が最も効果的考えは。



クラウドファンディングの実施
問 市民主導での小規模

問 教育、保育の問題相談受付窓口の設置を。

高齢者による業務サポート
問 児童見守り業務や保育士業務のサポートとして、高齢者のマンパワーを活用できないか。

余裕教室の有効活用を
問 教育振興基本計画にあるような、新たな学びの空間としての学校施設を考えた場合、余裕教室の活用が最も効果的考えは。



余裕教室の有効活用を
問 教育振興基本計画にあるような、新たな学びの空間としての学校施設を考えた場合、余裕教室の活用が最も効果的考えは。

公共工事の入札及び契約の適正化

床井紀範 議員

問 品確法、入契法、建設業法改正に伴う市の対応は。

答 適切に負担しない事業者は、県や近隣自治体と調整し排除する方向で検討する。

問 賃金アンケートの概略的特徴と今後の施策反

災害対策のあり方
問 災害時に必要な重機の確保と職員の訓練は。

きめ細かな情報発信を
小林憲人 議員
問 ホームページ上で各部署が情報発信を行っているが、長期間更新がない部署もある。対策は。

答 歩切りの廃止や施工体制台帳を義務付けている。今後、法定福利費を

問 品確法、入契法、建設業法改正に伴う市の対応は。

答 適切に負担しない事業者は、県や近隣自治体と調整し排除する方向で検討する。

問 賃金アンケートの概略的特徴と今後の施策反

きめ細かな情報発信を
小林憲人 議員
問 ホームページ上で各部署が情報発信を行っているが、長期間更新がない部署もある。対策は。



※クラウドファンディング（Crowd Funding） 起業家やクリエイターが製品開発・アイデア実現などの目的のために、インターネットを通して不特定多数の人に資金の出資・協力を募ること。

表紙：働く人シリーズに寄せて

編集委員が
インタビュー！

フルーツ工房の方に伺いました

Q この仕事を選ばれた理由を教えてください。**A** もともと物づくりが好きで、尺八など作ることがありましたが、自分のフルーツをこわしてしまった時に、自分で修理をして、こういう仕事もあると思いました。**Q** フルーツの製作は、どちらで修業されたのですか。**A** 所沢の村松フルーツで学びました。皆でアンサンブルを楽しんでいた頃、ジェームズ・ゴールウェイとヴィバルディの四季を演奏する機会があり、もっとしっかりした低い音が出る楽器があればと思い、独立後に作製しました。**Q** 文化の拠点整備についてどう思われますか。**A** ホールの建設費や運営にかかる経費を考えると、建設などは考えず、その数%の額をソフトの部分にまわし、文化の育成や啓蒙に向ければ良いのではないのでしょうか。

ご協力：フルーツ工房の古田土勝市さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の議事録も見られます。

アドレスが変わりました！

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/categories/bunya/shigikai/>

9月定例会の傍聴者は124人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定: 11月30日午前9:30～

請願締め切り予定: 11月20日午前10:00

市役所4階で開催します

議会広報常任委員会

委員長	伊藤美枝子	副委員長	渡辺 大
委員	加藤 恵一	委員	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	民部 佳代
委員	床井 紀範		

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。

表紙の題字を書ってくれた人
大井東中2年 相田宜孝さん

ふじみ野



題字を書くということにとっても緊張しましたが、一字一字をのびのびと書くように気をつけました。

編集後記

台風18号による鬼怒川堤防決壊で大きな被害が発生しました。ふじみ野市にも川があるため、他人事ではないと感じ、災害対策の重要性を改めて実感しました。

この議会広報も、市民の皆さんに、市政を「他人事」ではなく「我が事」と感じていただけるよう分かりやすい記事を心がけてまいります。

今議会は、完成したばかりの新たな議場で、決算、補正予算等の審議が行われました。この議場にも、新たに意義ある歴史を刻んでいけるよう精進してまいります。

最後になりますが、台風18号により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い復興を願います。

(渡辺 大)